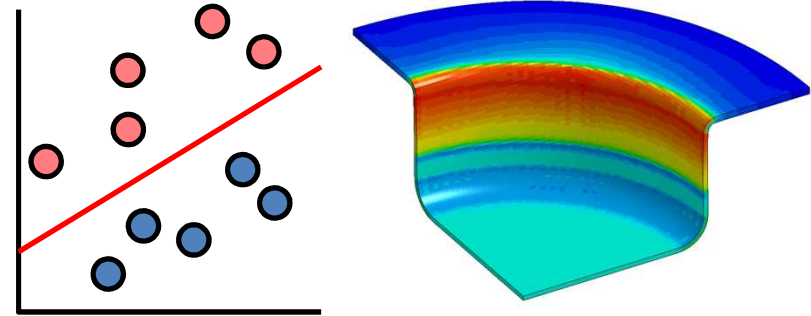


# 『機械学習による塑性加工技術の高度化に関する調査研究』

## 調査研究の目的

塑性加工分野におけるCAE技術とAI（人工知能）技術の融合方法について調査し、製品開発および技術開発の高度化、効率化を実現する新しい設計・解析システムの構築を目指す。



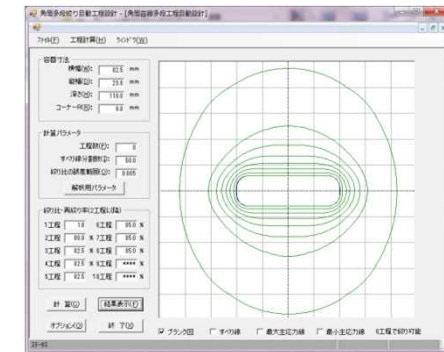
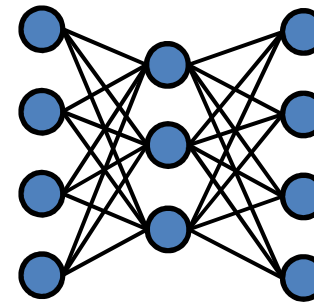
## 調査研究の内容

研究会を中心に以下を実施することで、産学官の連携を進め、具体的な研究テーマを提案する。

- 非線形問題に対する代理モデル作成方法に関する調査
- 塑性加工における多目的最適化に関する調査
- 人材育成など、導入に向けた課題に関する調査

### 関連する企業(業種)、大学(研究分野)

- ・塑性加工（プレス加工、鍛造加工など）関連企業
- ・大学（AI、塑性加工、機械設計学）
- ・最適化ソフトウェア開発企業



多工程絞り成形工程の自動設計にAIを活用

## 調査研究の結果、提案したい研究テーマ(例)

- ・多工程絞り成形工程の自動設計手法の開発
- ・サーボモーションによる高品質成形技術の開発
- ・スプリングバック予測システムの開発

## 実用化が見込まれる製品や産業分野

- ・輸送機械器具分野（航空機、自動車）
- ・絞り成形製品（電池ケース、容器類）
- ・高張力鋼板を用いた複雑形状製品

研究会名：《塑性加工研究会》

【お問合せ】 新潟県工業技術総合研究所 中越技術支援センター 片山（電話:0258-46-3700）